新庁舎建設基本設計の概要

○新庁舎の建設に向けて

平成３０年２月策定の「南相馬市新庁舎建設基本構想」、令和４年８月策定の「南相馬市新庁舎建設基本計画」を踏まえ、基本設計は、備えるべき機能の具現化に向けて検討を進めています。

現在はこの段階です

平成 30 年 2 月	令和 4 年 8 月	令和 5 年 3 月 ～令和 6 年 3 月		令和 6 年 10 月頃～		令和 8 年 10 月頃～	令和 11 年
基本構想	基本計画	基本設計	公共事業評価（外部委員による事業の妥当性の判断） 新市建設計画の見直し議決（使用財源の延長手続き） 都市計画用途地域変更告示（都市計画法による手続き）	実施設計	市役所位置条例の変更議決（住所変更の発信） 工事請負契約議決	工事	開庁

○新庁舎のコンセプト

基本計画を踏まえ、次の四つのコンセプトを基に基本設計を行っています。

Concept 1 ワンフロアーで完結する市民利便性が高い庁舎

- １階でほぼ全ての市民手続きが行える庁舎を目指します。
- 可動家具を採用し、将来の DX 化に備えます。
- 期日前投票、相談窓口の増設が出来る多目的会議室を設けます。

Concept 2 防災対策を強化した庁舎

- 災害情報の集約・判断・発信が一元化した災害対策室を設けます。
- 免震構造を採用し、災害拠点施設としての役割を強化します。
- 市民ホールに一時避難機能を設けます。

Concept 3 市民と行政のコミュニティの場が広がる庁舎

- 行政嘱託員会議や地域協議会合同会議等、規模の大きな会議にも対応できるフレキシブルな会議室を設けます。
- １階に市民活動を後押しする、外部から直接利用できる会議室を設けます。
- 多様な市民活動に対応するコミュニティゾーンを設けます。

Concept 4 自然と共生する省エネ庁舎

- Nealy ZEB によりカーボンニュートラルを実現します。
- 高断熱化により消費エネルギーを抑え、ランニングコストを削減します。
- 自然エネルギーを活用し、地球温暖化対策を推進します。